



～オープンイノベーションにより新たな価値・
しごと・人材を創出する～
『クリアグリーン TAKA』から幸福度高まる
TAKA 創生事業



兵庫県多可町

多可町が考える「人から人につなぐ」好循環

人を敬い、住民一人ひとりを大切にし、人から人に思いが受け継がれるまち

敬老の日発祥のまち 多可町



多可町八千代区
(旧野間谷村)
では、昭和22
年から9月15日
を「としよりの
日」と定め、みんな
でおじいちゃんおば
あちゃんを大切にす
る気持ちを育んできた。

このことが全国に輪を広げ、

今日の国民の祝日「敬老の日」の制定につながった。

多可町では、毎年、高齢者を敬い、一人ひとりを大切にする心を
育てるために、全国から作品を公募して絵画展を開催している。



自治体SDGsモデル事業の概要

【取組内容の概要】

『クリアグリーンTAKA』により森林サービス産業などから新たな事業や働き方が創出され、魅力あるしごと、多様な働き方が提案されることで、町内の若者や、高齢者の働く機会が創出されるとともに、住民の所得増が実現する。また、『クリアグリーンTAKA』の活動に住民が参加することでSDGsへの意識が高まる。

環境

課題：少子高齢化が急速に進む中、自然を守り次世代に繋ぐ人材が不足し、森林・田畑の荒廃が懸念される。



目指す姿：オープンイノベーションにより新たな働き方などを創り出し、町の内外から林業や農業の従事者を集める。

経済

課題：20歳から39歳の転出超過、高齢化等により、生産年齢人口が年々減少している。



目指す姿：『クリアグリーンTAKA』により新たな製品、産業を創り、地域に新たな雇用を創出する。

社会

課題：若者世代の転出超過や高齢化の進展



目指す姿：子育て世代、特に若い女性に選ばれるまちづくりに取り組む。高齢者の健康増進を図る。

三側面をつなぐ統合的取組

事業名：『クリアグリーン TAKA』 森林サービスイノベーション事業

【取組概要】

『クリアグリーンTAKA』でのイノベーション創出活動から、クアオルト健康ウォーキングとあらゆる資源、人、モノが繋がる森林サービス産業を展開する。森林環境が整備され、心身の健康が増進されるとともに、デジタル地域通貨（ポイント）を活用した地域内循環の仕組みの導入を目指し、より多くの住民参加により幸福度高まる多可町を実現する。

経 済

クアオルト健康ウォーキング参加者の健康に与える影響を科学的に検証。睡眠効果などについても実証実験を行い、付加価値の高い健康ウォーキング事業とする。

仮想体験等のIT技術を活用し、多可町のクアオルトを発信。町外からの参加者を、地域のあらゆる資源に繋げ、仮想健康ウォーキングをリアル・クアオルト健康ウォーキングに結びつける。



社 会

福祉や教育分野でも活用できるデジタル地域通貨（ポイント）を導入することで、域内のボランティア活動を活性化する。

ポイントを移転できるのであれば、地域内で住民相互が支援するモチベーションが高まり、住民の生き甲斐に繋がる。

環 境

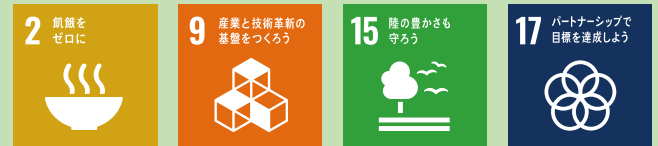
森林環境譲与税を活用し、多可町のクアオルト健康ウォーキング事業を対象として自治体間連携を促進する。

J-クレジットによる売買を促進し、脱炭素社会に貢献していく。

三側面をつなぐ統合的取組 ①



利用期を迎えた人工林は「伐って、使って、植える」ことで脱炭素社会に貢献。『クリアグリーンTAKA』事業から林業に関する新たな事業を創設し、クアオルト健康ウォーキング事業により、多可町の森林整備を応援する人を町内外から得る。



1. ESG活動推進企業などへJ-クレジット売却



持続可能な循環型社会への資金調達

2. 木質バイオマス利活用の推進



森林資源の有効活用

3. 環境にやさしい農業の推進

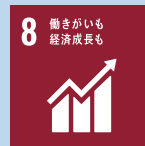


環境への負荷軽減と資源の地域内循環

三側面をつなぐ統合的取組 ②



2 飢餓を
ゼロに



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



15 陸の豊かさも
守ろう



17 パートナリシップで
目標を達成しよう

1. クアオルト健康ウォーキングを核とした森林サービス産業の推進



稼げる森林サービス産業を創出

2. 『クリアグリーンTAKA』を通じた既存商品の新たな市場開拓や新商品の開発



町内資源のブランディングを促進



兵庫県で最も古い人工林の植栽の記録がある林業と日本クアオルト®研究所から認定を受けた2つのコースを含む18のウォーキングコースがあるクアオルト健康ウォーキングを柱に、新たな産業を創出し、若者に雇用を生み出す。

3. 空き家等への木材利活用



町内林業の活性化と伝統的工法の伝承

4. 収益のある農林業の振興



先端技術の実証実験

三側面をつなぐ統合的取組 ③



1. 健康寿命の延伸

クアオルト健康ウォーキング
と健幸ポイント事業の推進



住民が参加する仕組み

2. 地域貢献と生涯活躍



新たな担い手育成
労働マッチング機能を通じ多様な働き方を可能に

デジタル地域通貨（ポイント）を活用して地域の取組に参加したいモチベーションを上げ、QOL向上と経済活性化、域内のボランティア活動の活性化なども期待できる。
また、ESD教育の実施により、子育て世代に選ばれるまちを目指す。

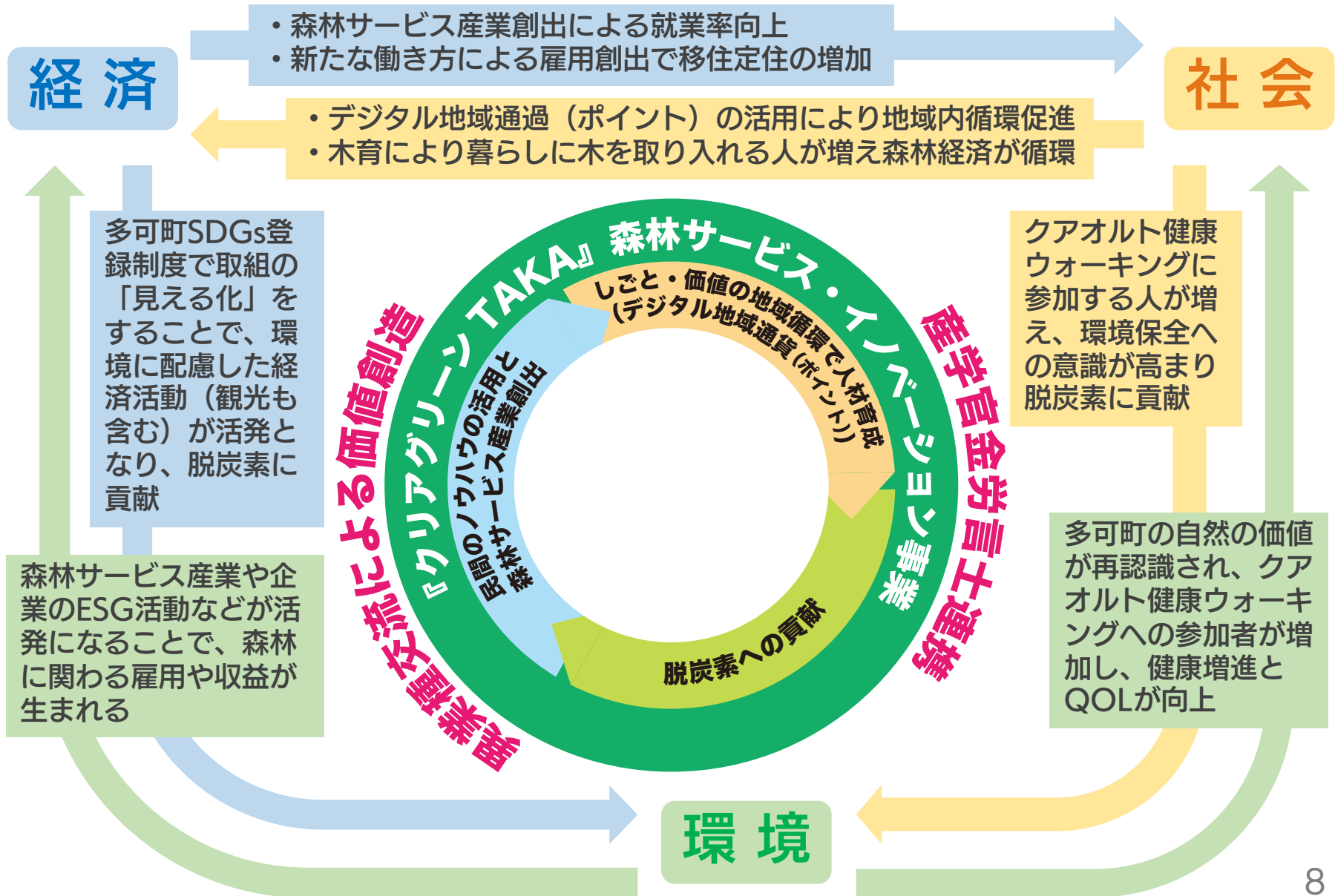


3. 豊かな感性を育み自然に親しむ木育とSTEAM人材の育成（ESD）



豊かな心と併せて明晰な思考力を持った持続可能な社会づくりの担い手を育む

環境、経済、社会の各側面の相乗効果



自律的好循環の具体化に向けた事業の実施

自律的好循環の実現



「環境」「経済」「社会」での取組が『クリアグリーンTAKA』に集約されてノウハウや思いが受け継がれ、自律的に好循環しながら、新たな価値・しごと・人材を創出し、幸福度高まる多可町を実現していく。

将来的な自走に向けた取組

『クリアグリーンTAKA』で徐々に人材が育ち、プラットフォームの運営や森林サービス産業の運営を民間組織として自走できる体制を目指す。スタートアップは、官民連携で事業を進めていく。資金ニーズが発生する場合には、外部の専門家（企業再生ファンド）の助言を得て、資金調達計画を策定、実施する体制を構築する。



自律的好循環の具体化に向けた事業の実施

「多可町SDGs登録制度」は既に開始
専用ウェブサイト <https://sdgs.takacho.net/>



住民参加の工夫



事業資金調達
政府系金融機関 国・県補助金 企業版ふるさと納税 クラウドファンディング ほか

事業者・個人を含む「多可町SDGs登録制度」
一住民一人ひとりがSDGsの取組に参加一

「多可町SDGs登録制度」では、事業者のみならず個人での登録を行い、SDGsの取組の裾野を拡大。地域内での取組が繋がり、点から線へ、さらに線から面的な広がりとなることをねらう。また、オープンイノベーションプラットフォーム『クリアグリーンTAKA』で異業種交流による新たな価値を創造する。

『クリアグリーンTAKA』が目指す好循環

住民
一人ひとりが
生涯活躍

① 敬老の日発祥のまち
人を敬い、住民一人ひとりを大切にするまち。



② 多可町SDGs登録制度
地域内の環境に配慮した取組を「見える化」して、ステークホルダー間の連携を図りつつSDGsの取組の裾野を広げる。

③ 森林サービス産業創出と脱炭素への貢献
兵庫県で最も古い人工林の植栽の記録がある林業と日本クアオルト®研究所から認定を受けた2つのコースを含む18のウォーキングコースがあるクアオルト健康ウォーキングに木育や食育などを加え、森林で脱炭素に貢献。

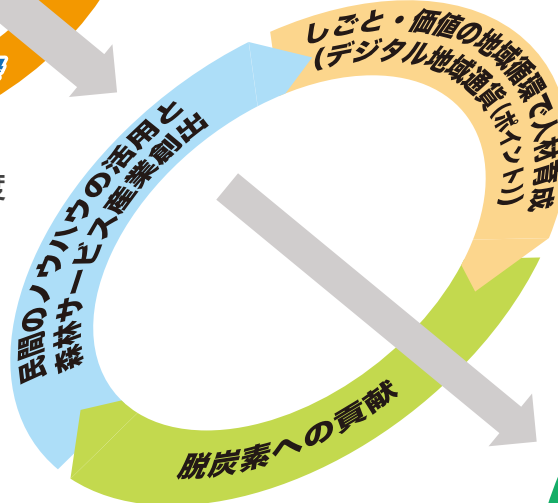
⑥ 地域を牽引する新たな担い手が育つ好循環を生む

「多可町SDGs登録制度」を活用した住民参加型のオープンイノベーションプラットフォーム。多可町SDGs登録制度への登録者（個人・事業者）と多可町を支援する産学官金労言士も参加。本町には、大化の改新、律令の制定が行われた時代の7世紀に築かれた東山古墳群があり、古代から多可町の森林と清流の中で連綿と続く人々の暮らしの歴史がある。古代の人々が抛り所とした翡翠の勾玉の透明な緑を本町の歴史と景観に重ね、また、本町の新たな歴史のプラットフォームとなるよう、『クリアグリーンTAKA』と名付けた。

④ デジタル地域通貨（ポイント）

地域の取組に参加したいモチベーションを上げ、QOL向上と経済活性化につなげる。※無理のない紙ベースのポイントなどで実証実験を行う。

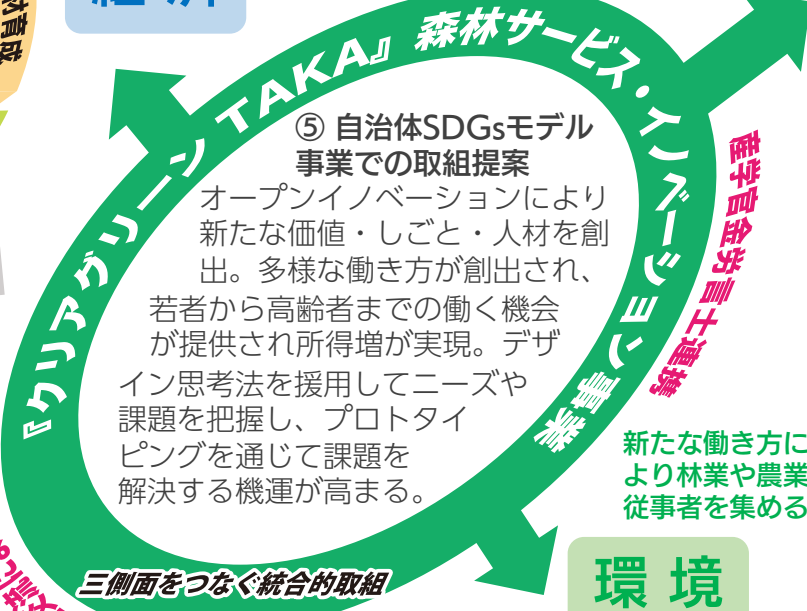
子育て世代に選ばれるまち／高齢者の健康増進



経済

新たな産業と雇用の創出

社会



環境